

令和 7 年度入学試験 出題の意図

選抜区分：一般選抜第 1 期

科目：国語

大問番号	大問別 出題の意図
問題 1	一般教養レベルで、日常生活において新聞雑誌、ニュース等に使用される言葉を出題した。四字熟語や語の意味を問い合わせながら使われ方を考える出題や、普段何気なく使っている敬語を意識してもらうことを出題した。
問題 2	出典『人間にとって法とは何か』 橋爪大三郎 社会学者である筆者が、公共性や「公」について法律の枠組みを通して、その問題点を指摘した講演を文章化したものである。難しい内容を話し言葉で優しく丁寧に表現しているので読みやすいのではないかと思う。身近な生活環境を考えながら公共や道徳について筆者の主張を読み取ることを目的とした。
問題 3	出典『日本人の技術はどこから来たか』 石井威望 工学者の立場から、技術の発展について歴史的な背景を例に挙げながら述べた文章である。日本人が、伊勢神宮や法隆寺を例にとり、新しい技術であった稻作や、火おこしの技術を継承しさらに未来へつないでいくための工夫の歴史を説明する。また大陸からの文明を受け入れながらもそれを咀嚼しそのように発展させてきたかを述べている。その主張を適切に理解できるかを問題とした。